

「第3次光市環境基本計画」策定のための市民アンケート結果報告概要

1 調査対象者

18歳以上の市民から1,000人を無作為抽出

2 調査期間

令和3年10月28日から令和3年11月12日まで

3 回答率

43.54%（前回（H29）：39.58%）

4 回答者の属性〔（ ）内は前回数値〕

（1）男女比 男性：43.8%（41.4%）、女性：56.3%（58.6%）

（2）年齢比
 10代：2.1%（－）
 20代：7.7%（5.7%）
 30代：8.6%（6.7%）
 40代：10.2%（14.9%）
 50代：15.8%（13.4%）
 60代：18.6%（24.9%）
 70代以上：37.0%（34.4%）

（3）地域比
 東部：11.6%（11.5%）
 西部：36.7%（36.8%）
 南部：34.2%（34.2%）
 北部：17.5%（17.5%）

5 主な回答の傾向と前回アンケートとの比較

光市の環境について感じる事（満足度と重要度） … P5～P52

【全体の傾向】

前回と比較して、19項目中16項目において満足度が低下している一方で、不満度についても17項目で低下しています。

これは、SDGsや食品ロス、海洋プラスチックごみなど様々な環境問題がクローズアップされ、市民の環境への関心が高まった結果、現在の取組に対し、一定程度評価をしているものの、満足とまではいけない状況になっているものと考えられます。

今後は、すべての分野において、市民の満足度の向上につながる取組を推進していくことが必要です。

また、重要度については、前回から割合が低下しているものの、全ての項目が高い水準であることから、引き続き市民ニーズに的確に対応した取組を進めていく必要があります。

《満足度の高いもの》

	1位	2位	3位
今回	水道水のおいしさ	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	川の水のきれいさ
前回	水道水のおいしさ	室積・虹ヶ浜海岸の美しさ	山や森林など自然の緑の美しさ

《満足度の低いもの》

	1位	2位	3位
今回	公共交通機関の利用のしやすさ	公園などの憩いの空間	省エネルギーの推進などの温暖化対策の状況
前回	公共交通機関の利用のしやすさ	街並みの美しさ	公園などの憩いの空間

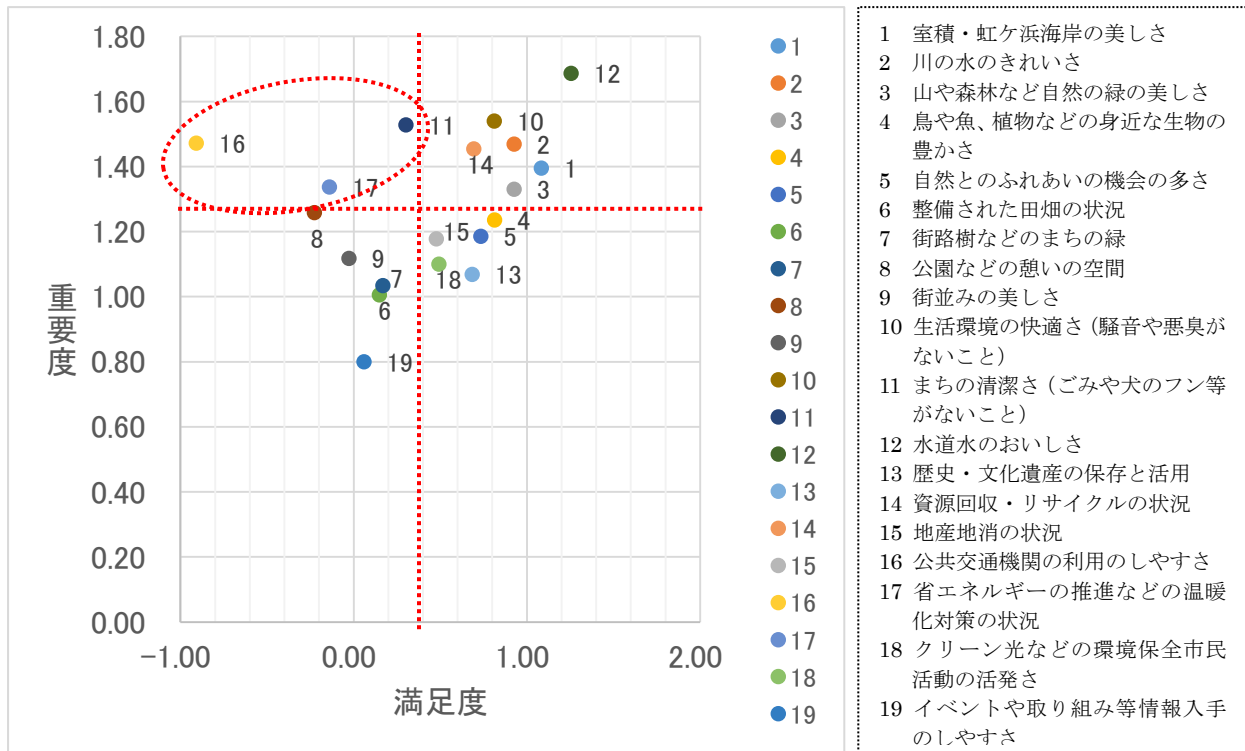
《重要度の高いもの》

	1位	2位	3位
今回	水道水のおいしさ	生活環境の快適さ（騒音や悪臭がないこと）	まちの清潔さ（ごみや犬のフン等がないこと）
前回	水道水のおいしさ	川の水のきれいさ	生活環境の快適さ（騒音や悪臭がないこと）

《重要度の低いもの》

	1位	2位	3位
今回	イベントや取り組み等情報入手のしやすさ	整備された田畑の状況	街路樹などのまちの緑
前回	イベントや取り組み等情報入手のしやすさ	整備された田畑の状況	自然とのふれあいの機会の多さ

【満足度、重要度の相関分析】



《満足度が低く、重要度が高い》

「公共交通機関の利用のしやすさ」、「省エネルギーの推進などの温暖化対策」、「まちなみの清潔さ(ごみや犬のフン等がないこと)」が該当し、重点的に改善することが必要な分野と捉えることができる。

《満足度、重要度ともに高い》

「水道水のおいしさ」「室積・虹ヶ浜海岸の美しさ」「山や森林など自然の緑の美しさ」などが該当し、現在の水準を低下することのないよう、また、今後も維持、向上に向けた取組が必要な分野と捉えることができる。

《満足度、重要度ともに低い》

「イベントや取り組み等情報入手のしやすさ」「整備された田畑の状況」などが該当し、目的や重要性を認識してもらう取組を行うとともに、あり方を見直すべき分野と捉えることができる。

《満足度が高く、重要度が低い》

「自然とのふれあいの機会の多さ」「歴史・文化遺産の保存と活用」などが該当し、引き続き施策や事業に取り組むとともに、内容に応じて見直しが必要な分野と捉えることができる。

環境に関して個人や家庭で取組んでいること … P53～P72

《取組状況の高いもの》

	1位	2位	3位
今回	ごみをきちんと分別する	買い物袋（マイバッグ）を持参する	節水（トイレの音消し流しをしない、シャワーを出しっぱなしにしないなど）
前回	ごみをきちんと分別する	買い物袋（マイバッグ）を持参する	詰め替え製品を購入する

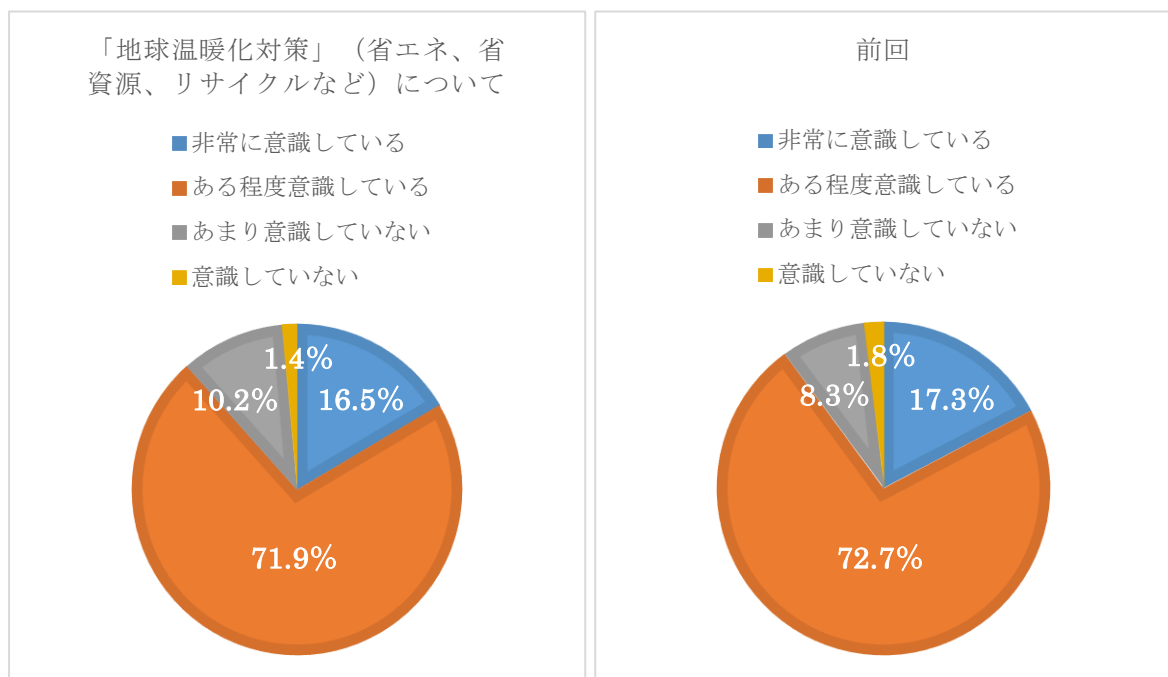
環境に関して地域や団体に取組んでいること … P73～P83

《取組み状況の高いもの》

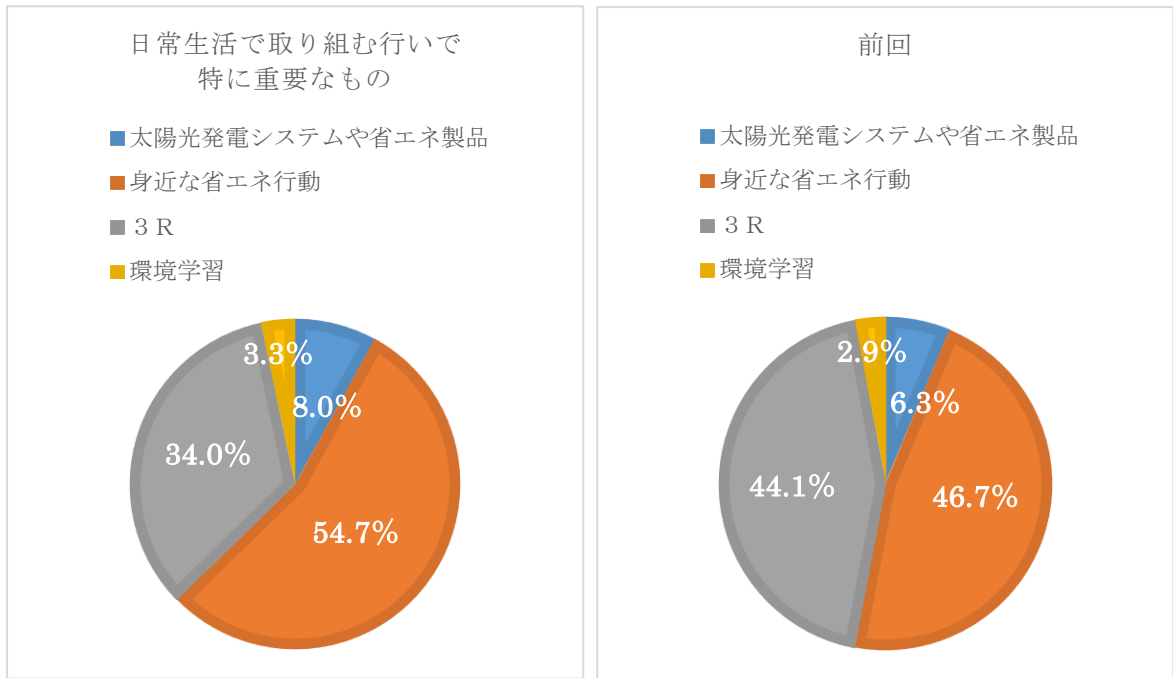
	1位	2位	3位
今回	クリーン光大作戦	古新聞やアルミ缶等の資源回収	地域、自治会等での環境美化活動
前回	クリーン光大作戦	古新聞やアルミ缶等の資源回収	地域、自治会等での環境美化活動

地球温暖化対策について … P84～P88

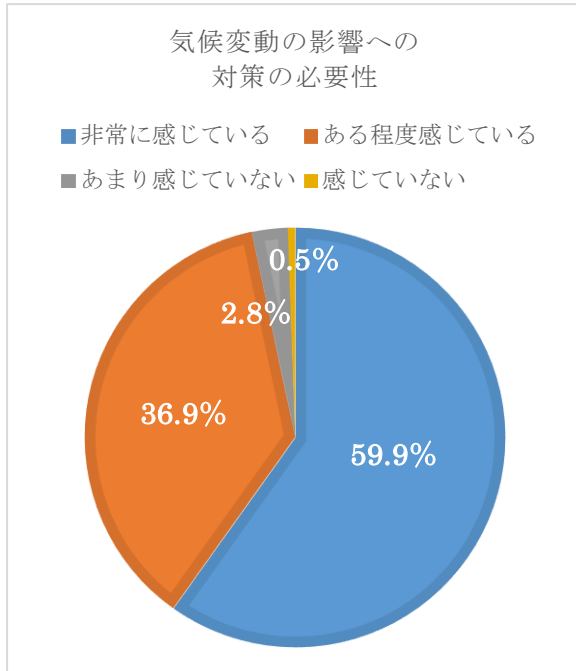
《地球温暖化対策への意識調査》



《地球温暖化対策として日常生活で取り組む行いで特に重要なもの》



《気候変動の影響への対策の必要性》



《全体》

	1位	2位	3位
今回	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導	室積・虹ヶ浜海岸の保全	島田川など河川の保全
前回	室積・虹ヶ浜海岸の保全	島田川など河川の保全	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導

《地域別集計》

		1位	2位	3位
東部	今回	ごみの減量やリサイクルの推進	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導	田や畑の保全と整備
	前回	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導	・島田川など河川の保全 ・田や畑の保全と整備	—
西部	今回	島田川など河川の保全	ごみの減量やリサイクルの推進	室積・虹ヶ浜海岸の保全
	前回	室積・虹ヶ浜海岸の保全	ごみの減量やリサイクルの推進	・島田川など河川の保全 ・ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導
南部	今回	室積・虹ヶ浜海岸の保全	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導	マイカー利用を抑制するための公共交通機関網の整備
	前回	室積・虹ヶ浜海岸の保全	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導	ごみの減量やリサイクルの推進
北部	今回	島田川など河川の保全	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導	室積・虹ヶ浜海岸の保全
	前回	島田川など河川の保全	ごみのポイ捨てや犬等のフンの放置、野焼きなどに対する指導	・ごみの減量やリサイクルの推進 ・マイカー利用を抑制するための公共交通機関網の整備

家庭で導入している省エネ設備・機器について … P95

重点的取組を進めてきたLED照明について、導入している人の割合が74.3%となり、前回(59.1%)から15.2%増加しています。「二重窓や外断熱など、住宅の断熱化」についても、40.4%と前回(31.2%)から9.2%増加しており、省エネ生活普及促進事業(エコライフ補助金)の成果が表れているものと考えられます。

また、省エネ性能に優れた家電を導入または導入する予定がある人の割合は高い水準となっており、市民の省エネ意識の高さが伺える結果となっています。

自然敬愛都市宣言の内容の周知について … P96

「聞いたことはあるが内容は知らない」及び「聞いたことがない」を合わせた割合は89.5%となり、前回調査時の88.4%と比べ増加しており、引き続き周知に努める必要があります。

後世に残したい光市の環境 … P97

287人から意見があり、主な内容は、「白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸(179件)」「自然(山・森・川・海)(29件)」「島田川(19件)」などとなっています。